



南舞岡小だより



学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (Tel.823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

自助・共助・公助

学校長 地主 佐和子

新しい年が明けてすぐに起きました令和6年能登半島地震。横浜市も震度3が観測されました。保護者、地域の皆様におかれましては大事に至ることなく過ごせましたでしょうか。ご親族やお知り合いで被害に遭われた方がいるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。正月に大きな地震が起きたことで、災害はいつでも予告なしに起きてしまうということを実感しました。自宅にいながら先月の防災訓練を想起する正月となりました。

12月16日、本校を会場に地域防災拠点の訓練が行われました。2校時に地震発生を想定した児童の避難を開始しましたが、子どもたちは話すことなく迅速に校庭へ一次避難を完了しました。地域の方々が続々と訪れている頃でした。校庭には消防自動車が3台も止まっています。炊き出しの準備も始まっています。そんな日頃とは違う風景であっても落ち着いて避難ができた子どもたちを、私は素晴らしいと褒めました。訓練のときにしっかりできていざというときには同じことができないかもしれません。そういう意味で真剣に取り組んだ子どもたちを誇りに思いました。その後、学校でいう3、4校時は、地域の方々が様々な訓練に参加し、5、6年生は同じ体験をさせていただきました。1、2年生は戸塚消防署吉田出張所の、3、4年生は戸塚区役所のご協力を得て、防災教育を実施しました。学校全体が、南舞岡の地域全体が、この日は防災を考える一日になりました。

この日以降、「自助・共助・公助」について思いを巡らせています。横浜市でも防災について「自助・共助・公助」の考え方を示しています。「自助」とは自分（や家族）の命を自らで守ることや備えること。「共助」とは近隣が互いに助け合って地域を守ることや備えること。「公助」とは、行政機関による救助や救援のこと。まずは自助、次に共助、最後に公助という考え方です。当日この地域の多くの住民の方々が訓練に参加されていました。いざ、「公助」を頼るときに拠点である学校に足を運んでおくという訓練も大事です。しかし、大きな災害が発生した場合には、広範囲に被害が起きているのですから、「公助」でその全てに迅速な対応をしてもらうことは難しいと思われれます。横浜市は最も人口をもつ政令指定都市ですから。当日は「自助」や「共助」が大事であるという理解を広めるための訓練でもありました。遠くの親類より近くの他人という言葉がありますが、ご近所付き合いの程度やいざというときにお願いができる人間関係が、生死を左右するかもしれません。学校では、子どもたちに、自分の身は自分で守る教育を上述の通り他機関の力を借りながら実施しております。我々大人も今年一年を安全に過ごすために、自助や共助について考えてみてもよいのかなと思っております。

令和6年も南舞岡小学校をどうぞよろしく願いいたします。